

FUGENJI

普賢寺古墳

門真市石原東・幸福北土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書

2000年6月

門真市教育委員会



盾持人埴輪

第1章 調査に至る経過

平成 11 年 4 月 16 日、門真市石原東・幸福北土地区画整理組合より、埋蔵文化財発掘の届出が提出されたため、原因者と協議を行い、試掘調査を実施した。

試掘調査では、若干の埴輪片は出土したものの、遺構は確認できず、また試掘調査が可能な場所が限定されたため、発掘調査を実施するに足る資料を得られなかつた。8 月に再度試掘調査を行つたところ、遺構の存在が確認され、遺構から埴輪の破片が出土したため、発掘調査を実施することとなつた。

今回の調査対象地は、一部が古川橋塗園の東と北側に接する状況にあつた。同塗園は周囲より地盤が高く、試掘調査では埴輪片が出土したことなどから、古墳の墳丘になる可能性があると予測をし、発掘調査の範囲については、できるだけ同塗園に沿うように設定した。

平成 12 年 1 月 22 日、門真市石原東・幸福北土地区画整理組合と門真市教育委員会が発掘調査の覚書を交わし、古川橋塗園に接する 489 m²が調査対象となつた。平成 12 年 2 月 7 日から同年 3 月 10 日まで発掘調査を実施した。

調査は、地表より約 100cm を機械掘削、以後、最大 200cm まで人力で掘削を行い、遺構・遺物の検出に努めた。

(宇治原)



図 1 調査位置図

【引用・参考文献】

- 上田宏範 1963 「門真市三ツ島遺跡発掘調査概報」『大阪市立博物館報』2 大阪市立博物館
宇治原靖泰 1990 「普賢寺遺跡発掘調査概要」1 門真市教育委員会
宇治原靖泰 1991 「普賢寺遺跡発掘調査概要」2 門真市教育委員会
宇治原靖泰 1992 「門真市橋口遺跡発掘調査概要」 門真市教育委員会
宇治原靖泰・植田正幸 1993 「西三莊・八雲東遺跡発掘調査概要」 門真市教育委員会・守口市教育委員会
梶山彦太郎・市原実 1972 「大阪平野の発達史」『地質学論集』7
梶山彦太郎・市原実 1985 『続大阪平野発達史』古文物学研究会
福田英人 1984 『普賢寺遺跡発掘調査現地説明会パンフレット』大阪府教育委員会
三木文雄 1977 「終末期の扁平小形銅鏡に就いて」 『國學院雑誌』78-9 國學院大學



図6 周辺の遺跡分布図

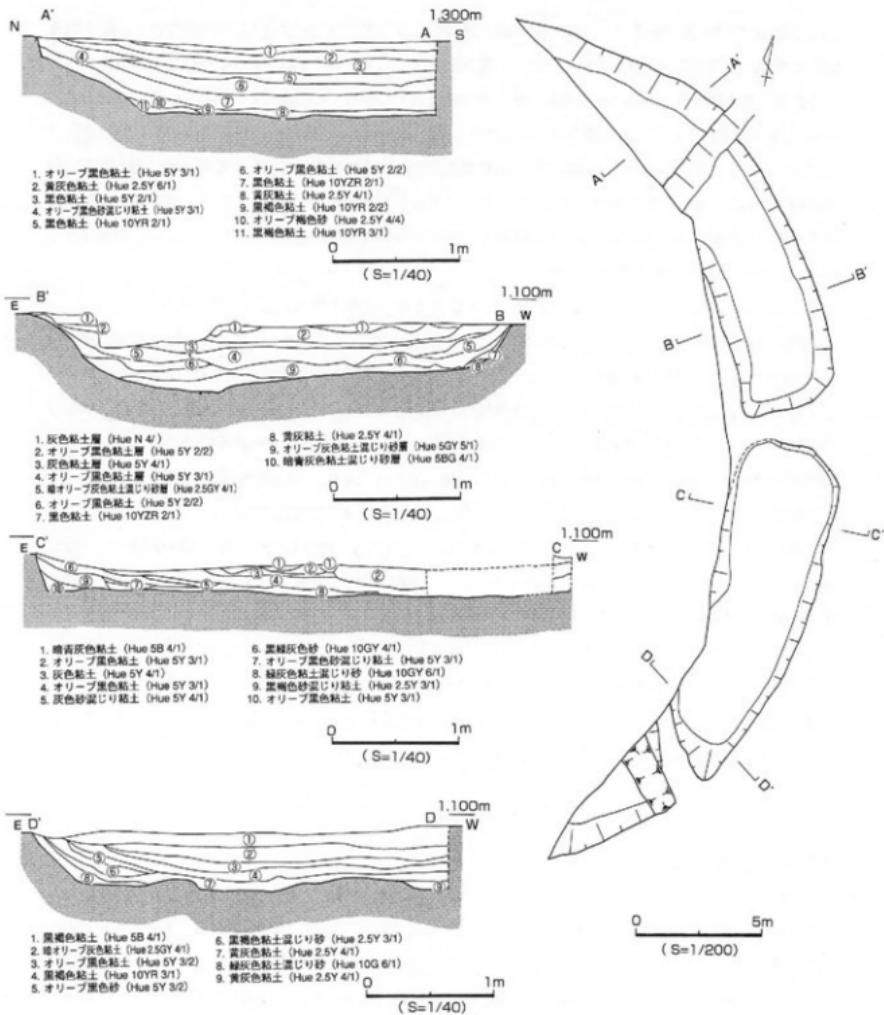


図11 SD01 (周濠) 平面図・断面図

ている。

次に周濠の構造、堆積状況について触れる。周濠の構造は、周濠底のベースが全ての場所で砂質土であり、填丘層に貼り石、葺石が認められないことから、地山面を掘りくぼめただけの簡単なものであると考えられる。周濠の堆積状況は、第1調査区セクションベルト1で第1層から第5層までは中世以降現在に至るまでの遺物が混在しており、長期間にわたって周濠は完全に埋没せず凹みとして残っていた可能性が考えられる。次に第5層の炭交じりの黒色粘土層から下層は純粹な古墳時代の堆積層であり、比較的残りのレリーフ遺物は主

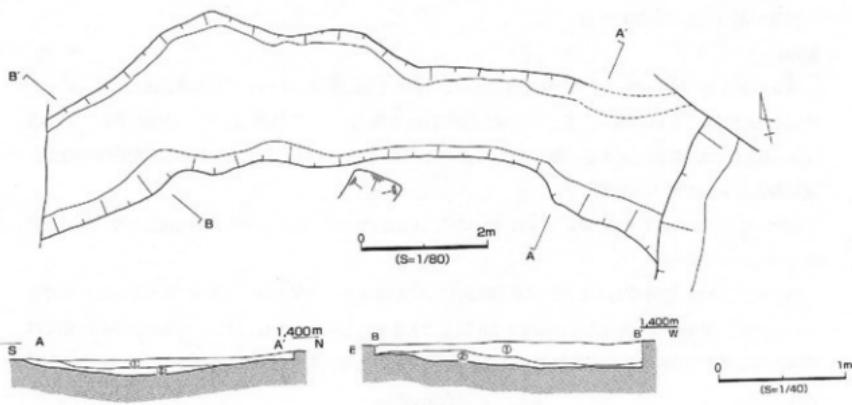


図12 SD02 平面図・断面図

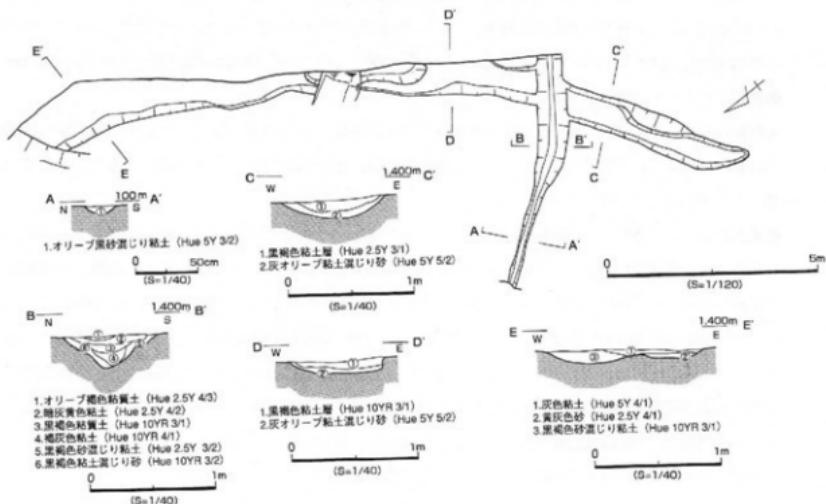


図13 SD03 平面図・断面図

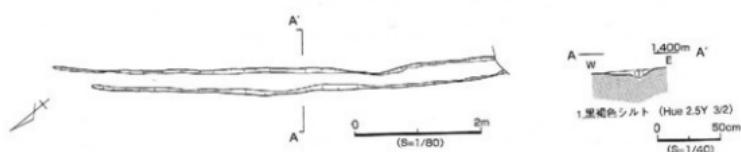


図14 SD04 平面図・断面図

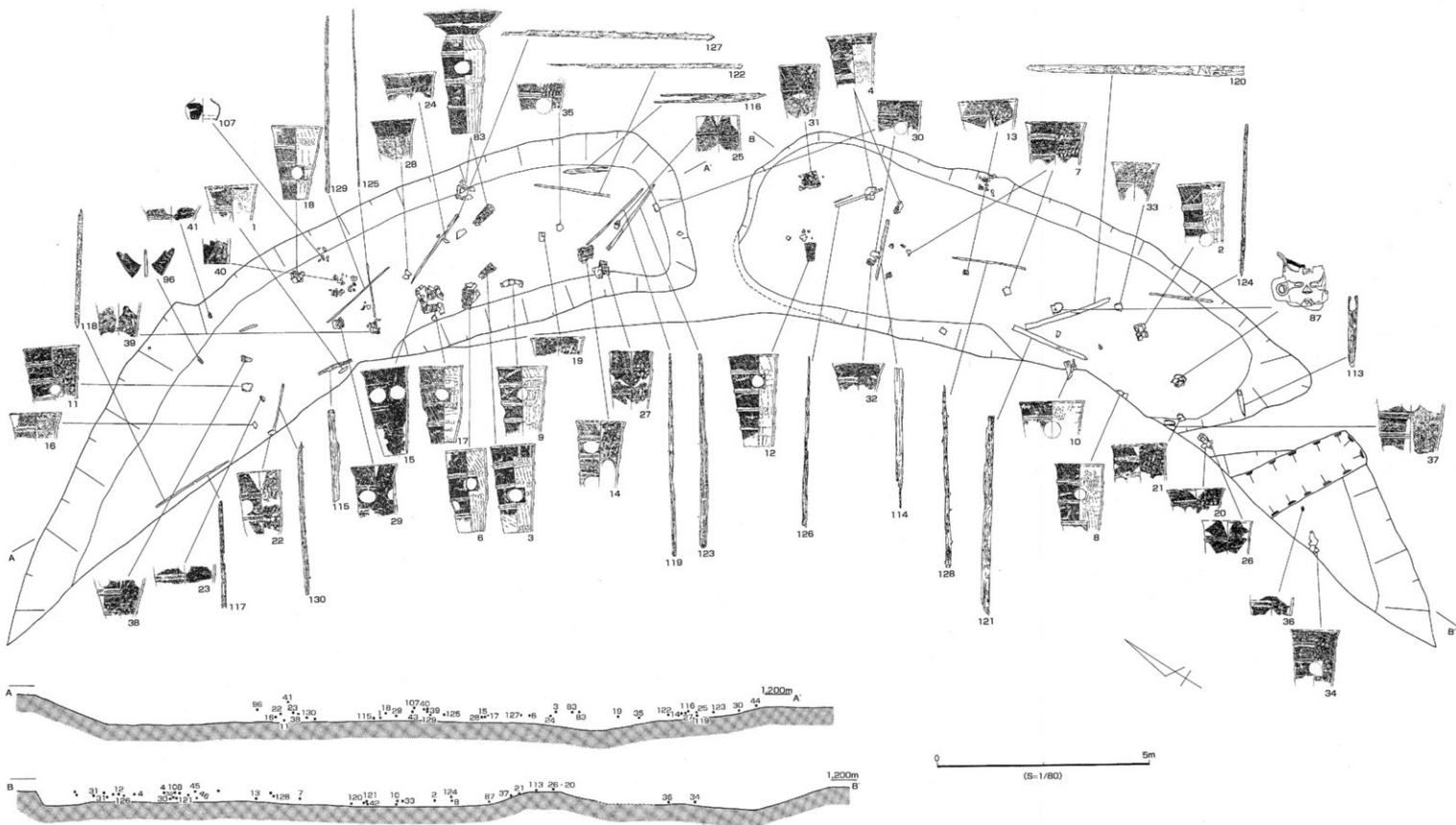


図15 周濠内遺物出土状況図 1

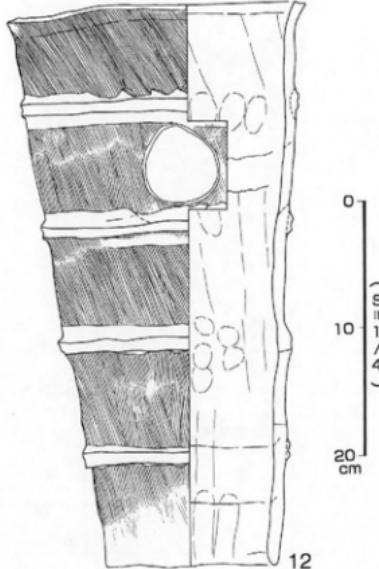
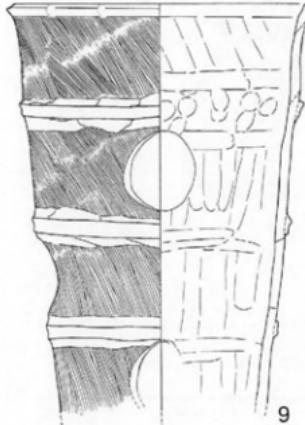
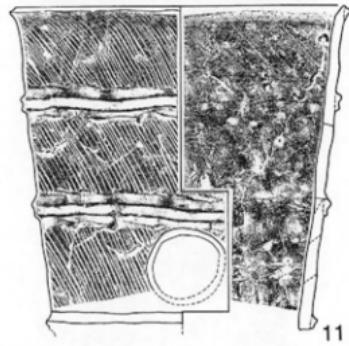
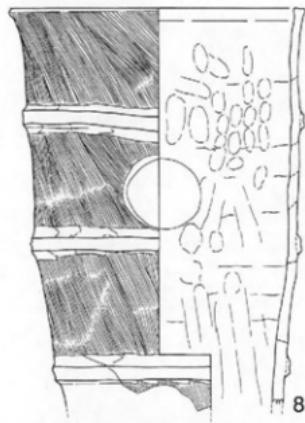
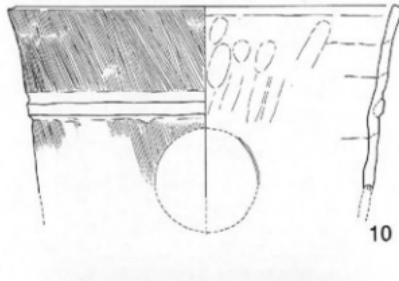
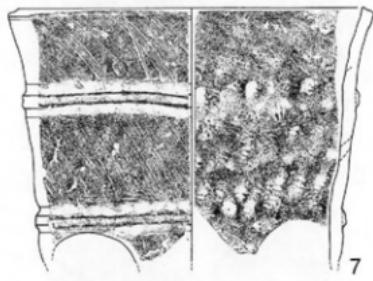
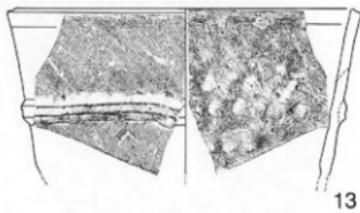
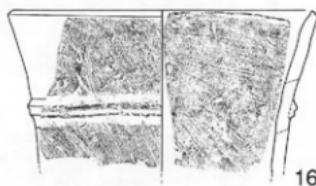


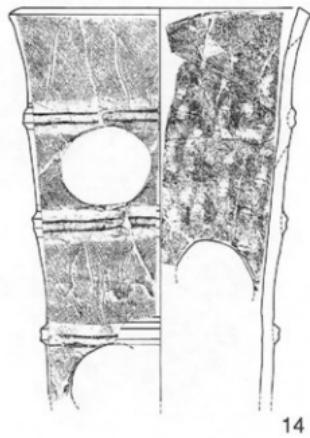
図19 周濠内出土の円筒埴輪（2）



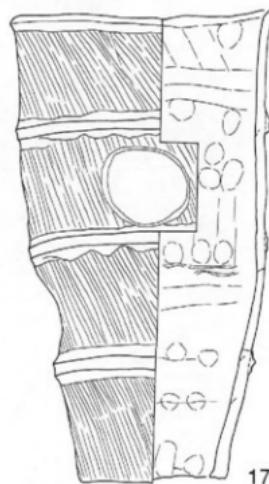
13



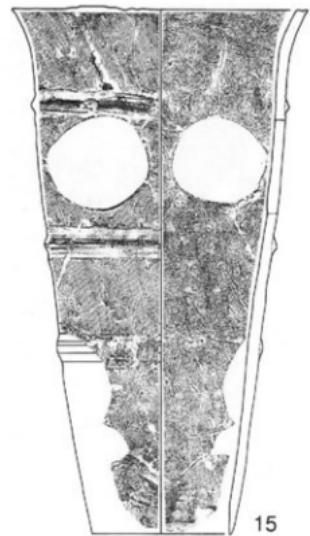
16



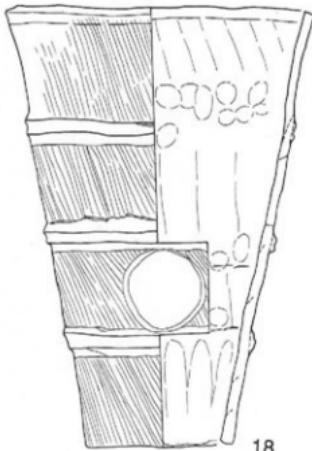
14



17

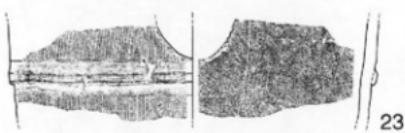
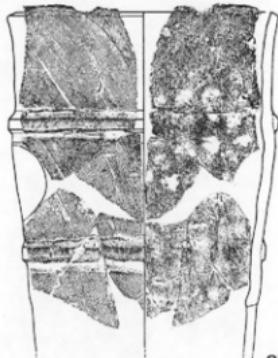
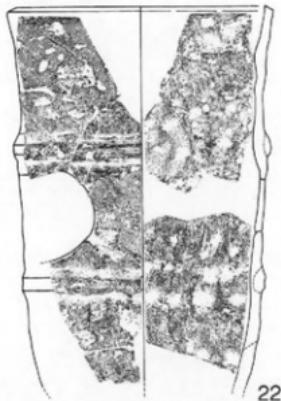
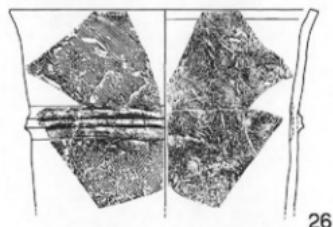
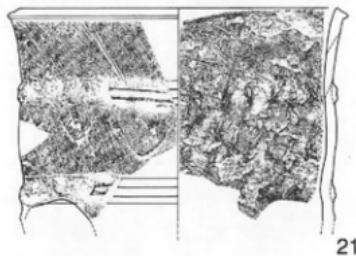
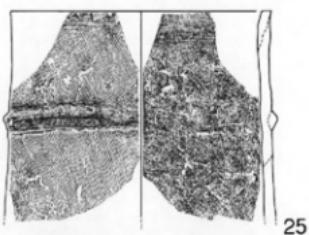
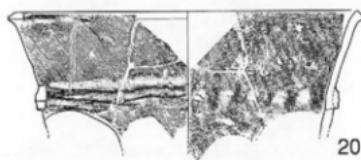
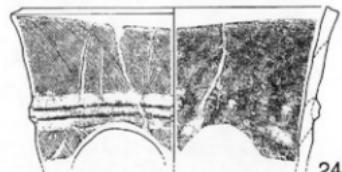
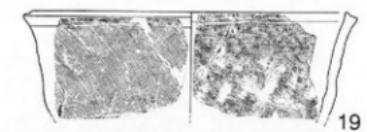


15



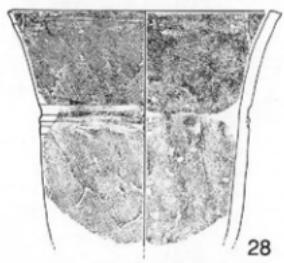
18

図20 周濠内出土の円筒埴輪（3）

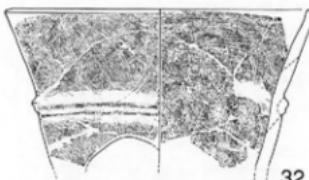


0 10 20cm
(S=1/4)

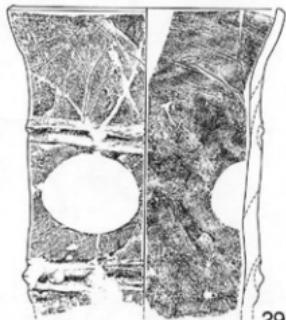
図21 周濠内出土の円筒埴輪（4）



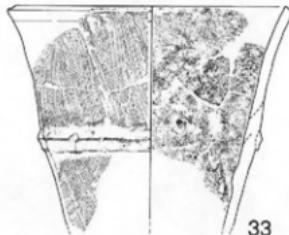
28



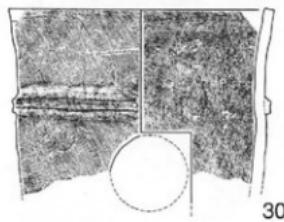
32



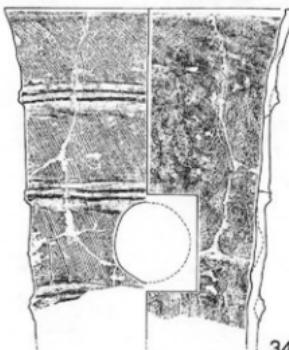
29



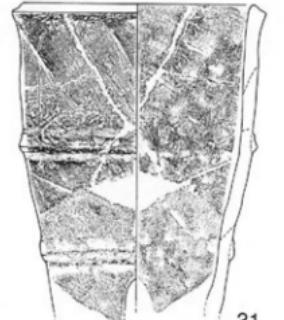
33



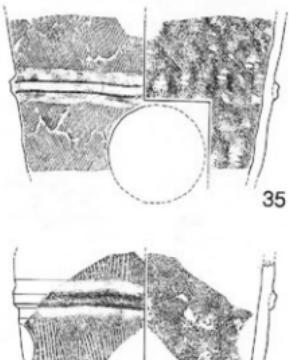
30



34



31



35

0
10
20
cm
 $S = 1/4$

図22 周濠内出土の円筒埴輪（5）

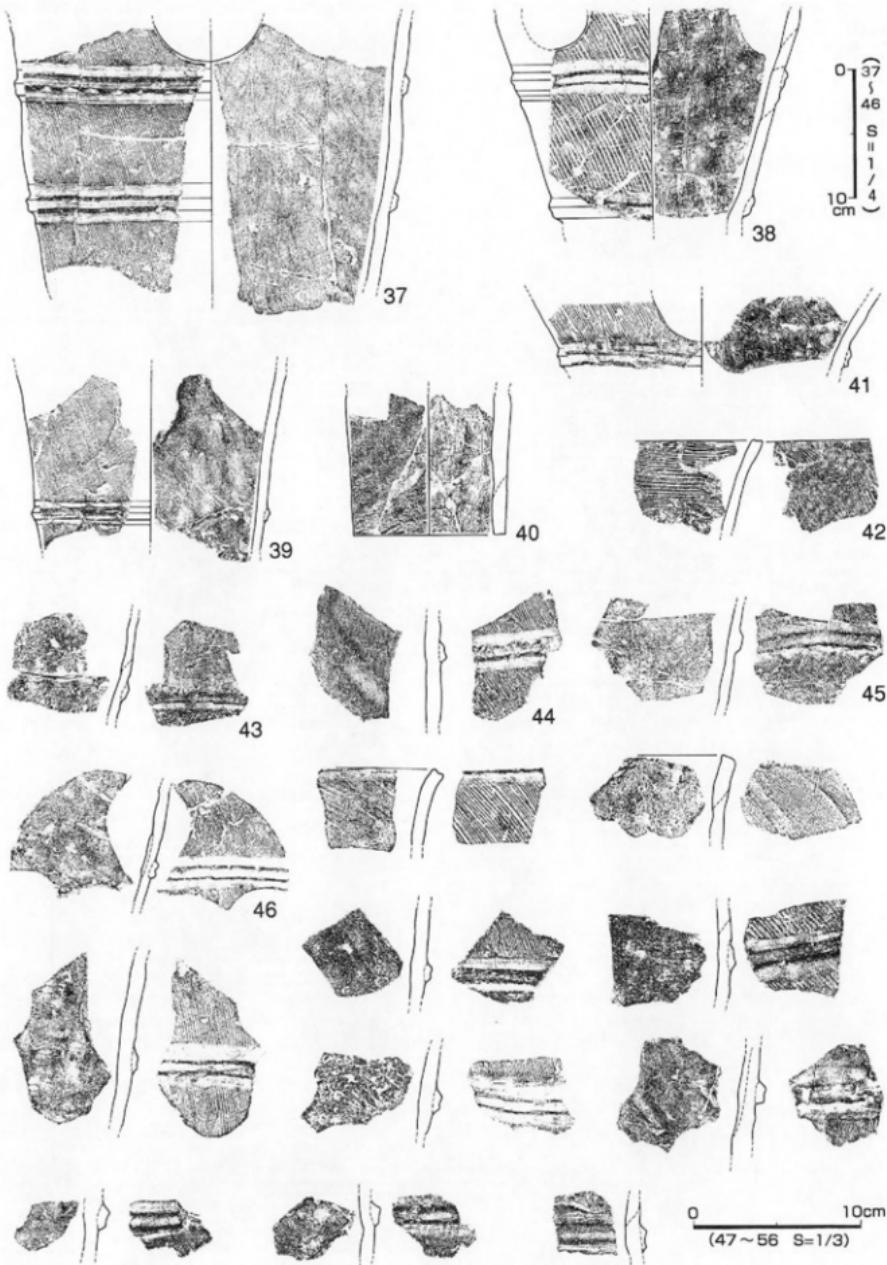


図23 周濠内出土の円筒埴輪（6）

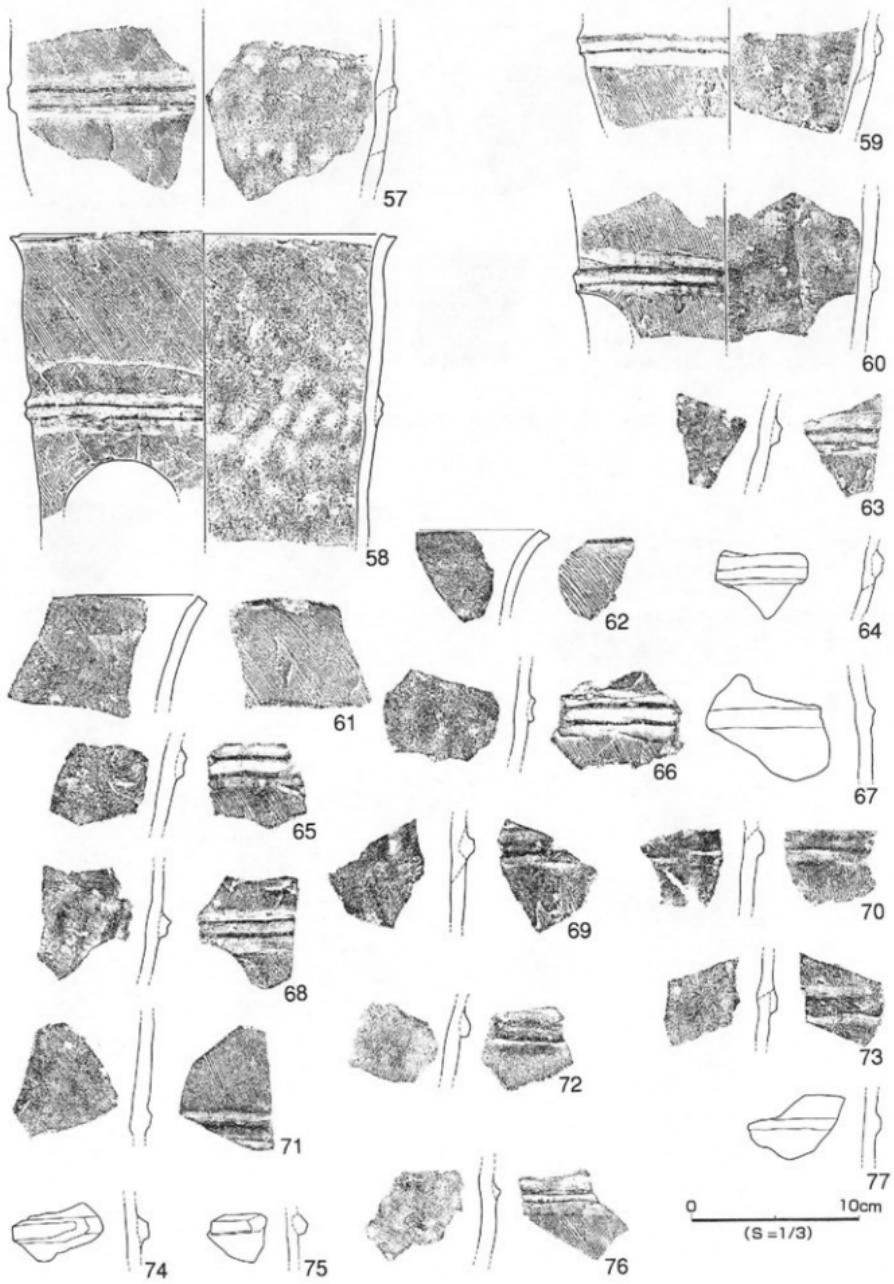


図24 周濠内出土の円筒埴輪（7）

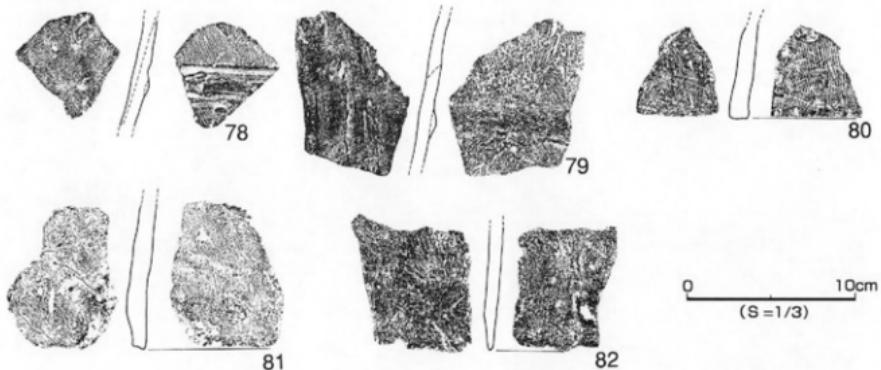


図25 周濠内出土の円筒埴輪（8）

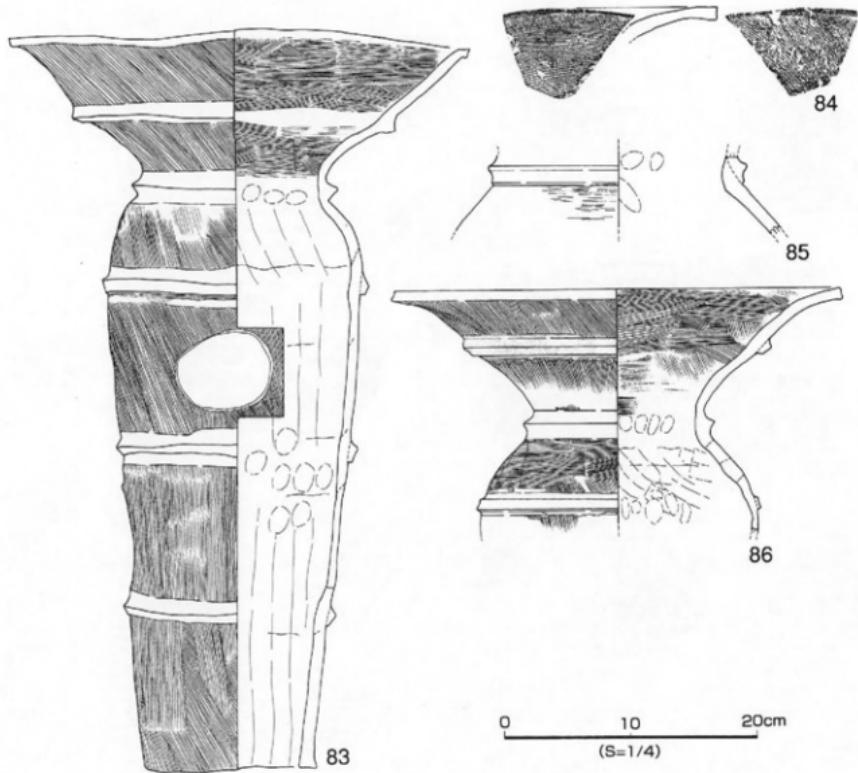


図26 周濠内出土の朝顔形埴輪

器財形埴輪

88~95は盾形埴輪であり、すべて同一個体である。これらの資料は人物埴輪の左目の破片と一緒に出土しており、また、胎土が類似することから、人物埴輪の一部と考えられる。

現状から復元する全体像は、「II」字形の区画に分割した盾面で、外側の輪郭は綾杉文を施している。綾杉文の幅は側面で約2cm、上面で約4cmである。

文様は内区と外区に分かれ、外区には上部に幅約9cm、縦約10cmの鋸歯文、側面に正確な大きさは不明であるが、上部より小さな鋸歯文を施し、内区には斜格子文を施している。断面は盾面の側辺がわずかに内湾している。盾面の調整方法としては、縦ハケが施される。

96~102は蓋形埴輪である。96、98~102は立ち飾り部である。96は調整痕として、横、斜めハケが認められ、胎土には橙色のクサリ穂が認められる。色調は96が淡黄(Hue2,5Y8/3)、その他が浅黄橙(Hue10YR8/3)である。97は他の資料と異なり、片面にのみ文様が認められ、もう片面には幅1.4cm、高さ1.5cmの突帯を端部に沿って貼り付けている。色調は外面が灰白(Hue2,5Y8/2)、断面が燈(Hue5YR7/6)である。

103~106は不明形象埴輪である。103、104は鳥(鶴)形埴輪の破片であろうか。105は堅く焼き結まっており、タガの上面には指頭圧痕が認められる。106は一面に縦ハケ、もう一面に横ハケが施されており、家形埴輪の破風の調整に似ているが断定はできない。

(松田)

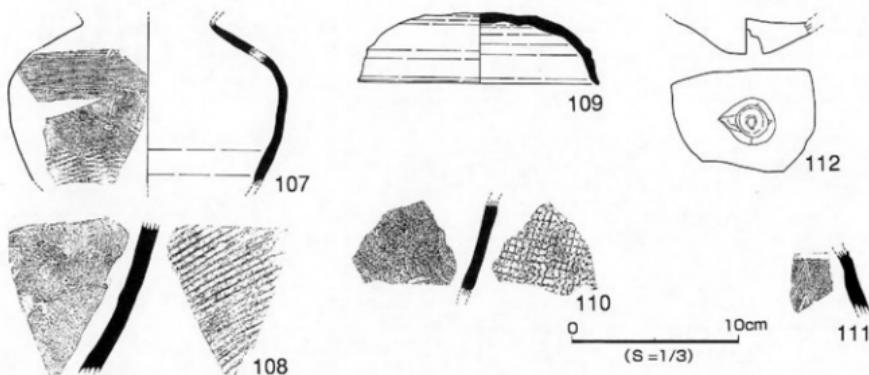


図29 周濠内出土の巣恵器・土師器

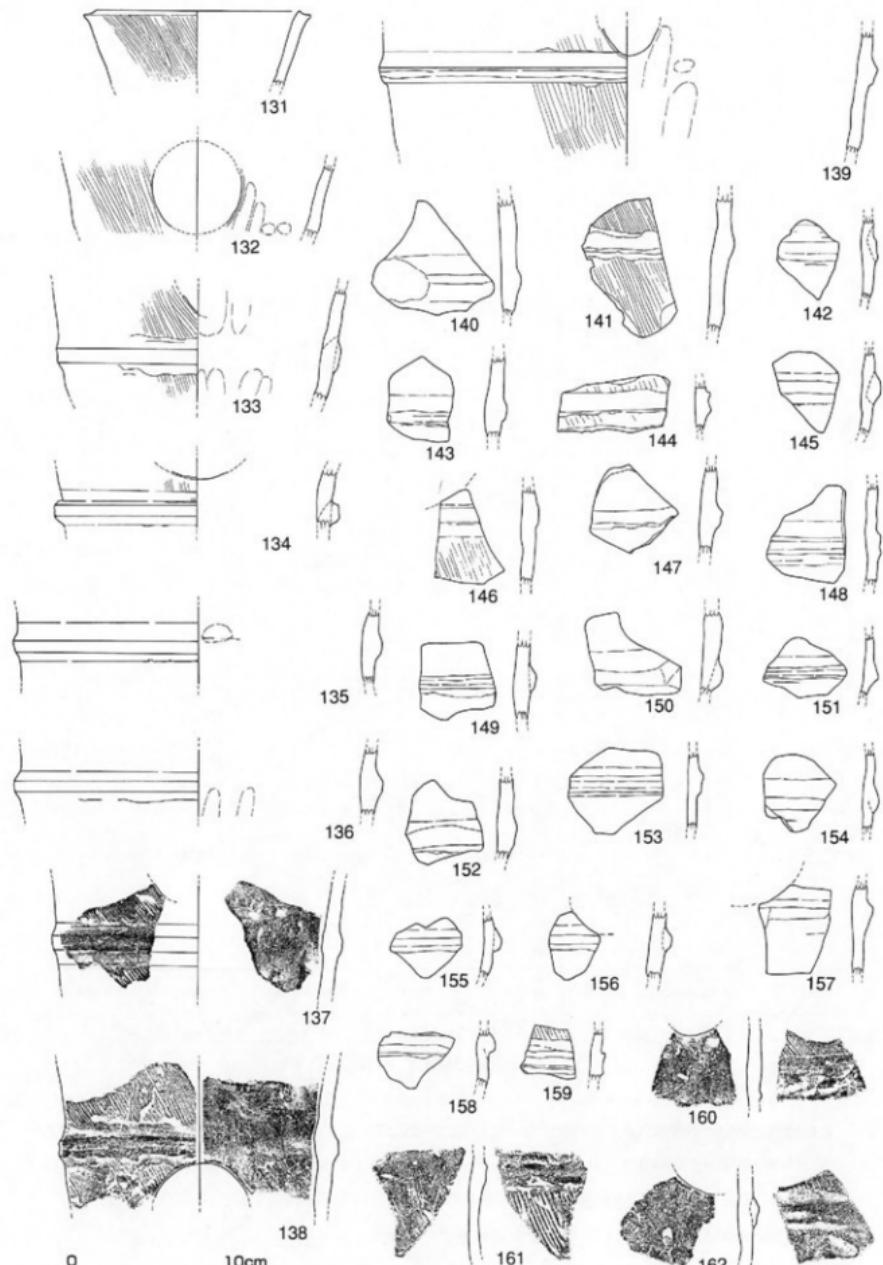


図33 円筒埴輪 (1)

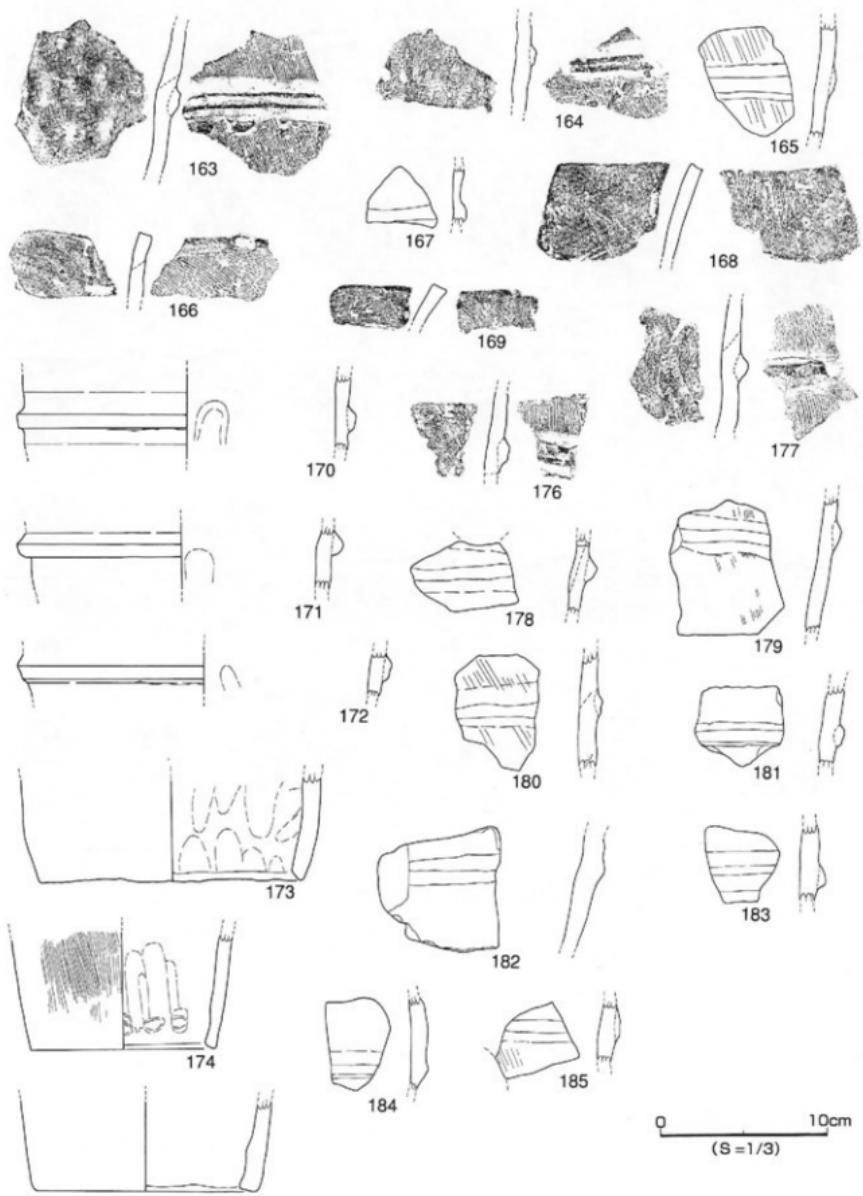


図34 円筒埴輪 (2)

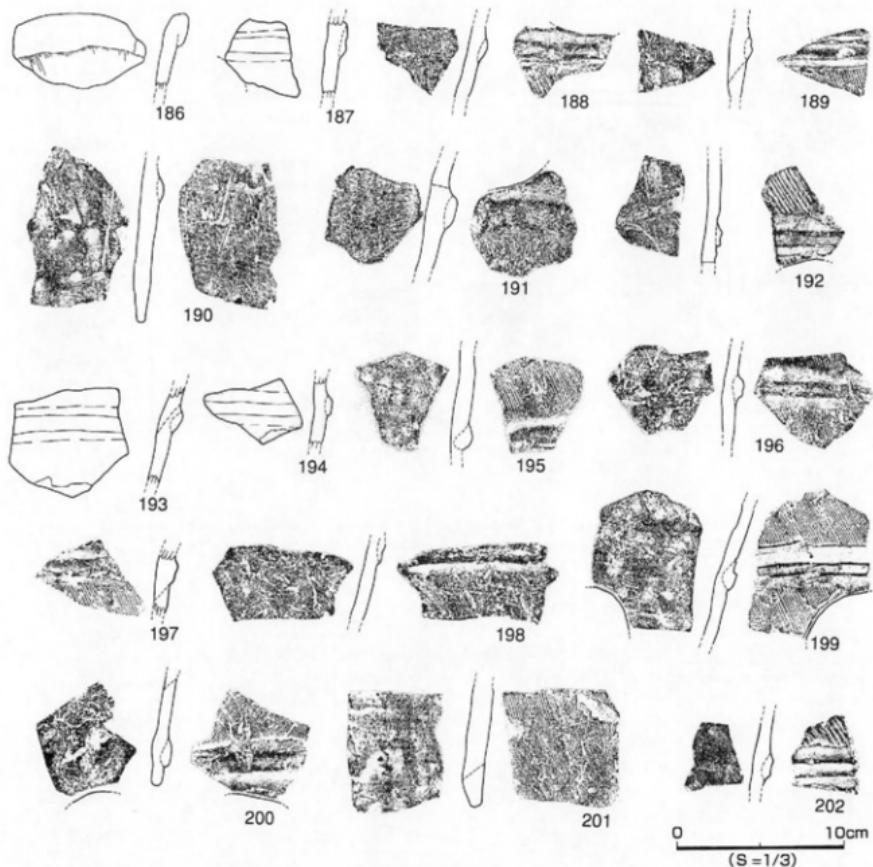


図35 円筒埴輪（3）

(5) 樹木・木製品

出土資料はほとんどが自然木、もしくは板状のものであり、明らかに加工が認められる資料は多くない。全長は最も長い例で 203cm であり、100cm 前後のものと、100cm 後半のものがある。

加工の可能性のある資料は、113、117、118 である。113 は長さ 67.8cm であり、出土例の中では一番短い。片方の端部は木材の中心部分が抉り取られており、残された両端によって二股状になっている。117 は

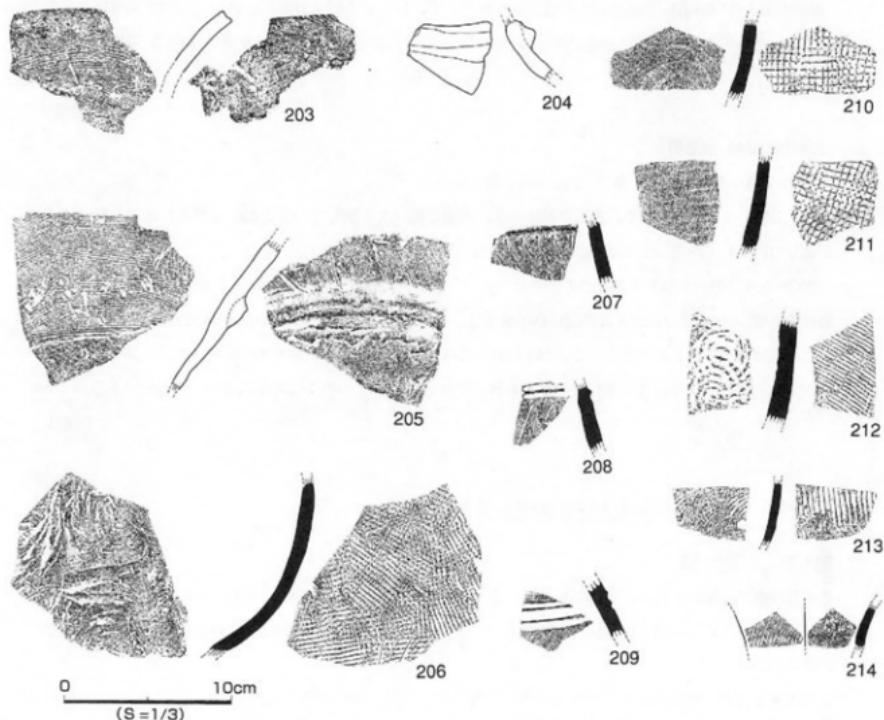


図36 朝顔形埴輪・須恵器

長さ 110cm である。中間には幅約 11cm の抉りが認められる。また、片方の端部には台形状の掘りこみが認められ、端部は小さな二股となっている。118 は 117 と端部同士が接した状態で出土している。長さは 112.8cm で、その中央付近には梢円形状の抉りが認められる。

114～116、120～122 は板状を呈している例である。これらには穿孔、掘り込み等の加工痕は認められない。

127～130 は自然木であり、節が至る箇所に認められる。その内、127 は一部炭化した箇所が認められる。これら樹木・木製品は用途の推測となる形態的特徴がはっきりせず、その性格については不明である。

(松田)

第5節 周濠以外から出土した遺物

(1) 円筒埴輪

周濠外出土の円筒埴輪はそのほとんどが破片であり、磨耗が著しく調整が確認できないものも含まれる。

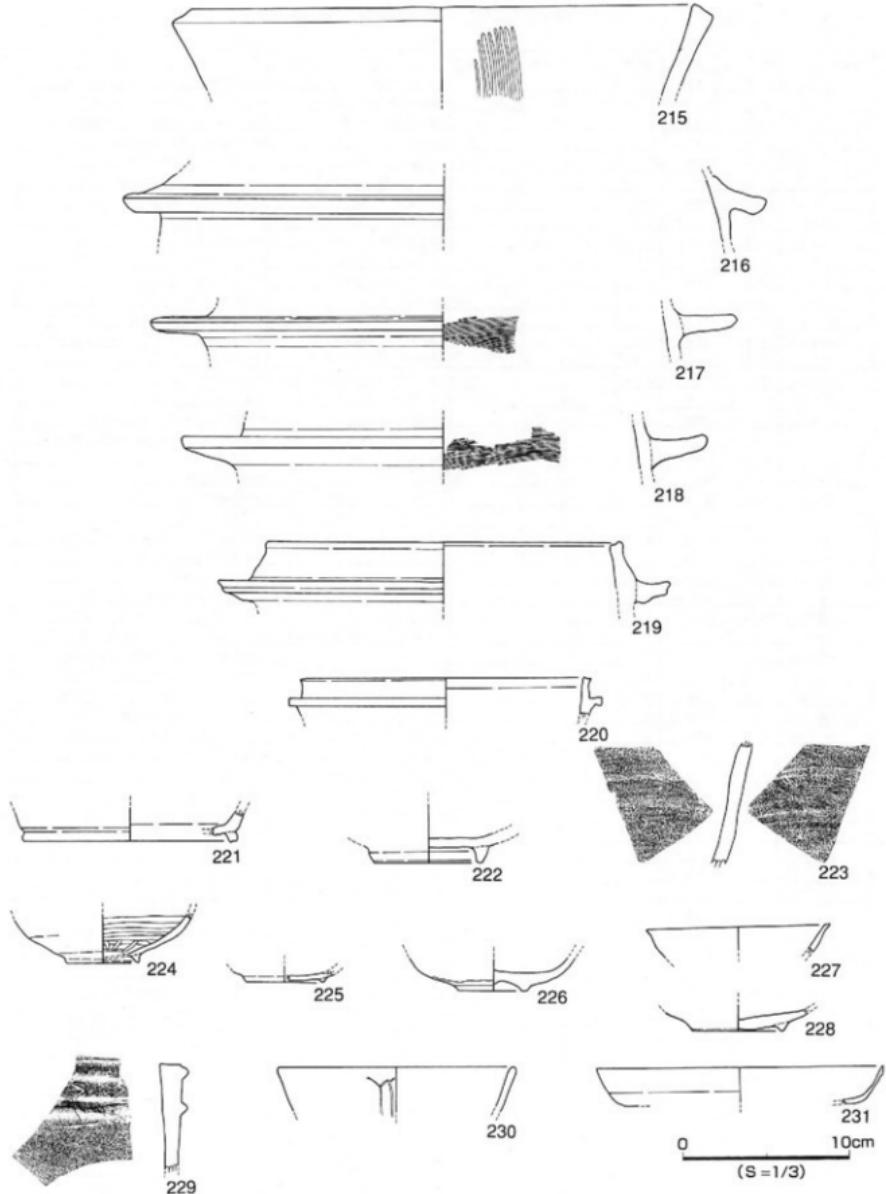


図37 古代以降の出土遺物

第6章 調査のまとめ

(1)普賢寺古墳の墳丘規模と墳形

今回検出された周濠の一部は、現代の墓地の北側にそれを取り巻くようにして位置しており、この墓地が古墳の墳丘であることが判明した。そこで、墳丘の現状の把握、復元を目的として墓地の地形実測を行った。本節ではその成果として、墳丘並びにその周囲の現状を記し周濠の復元を試みたい。

まず、墳丘の現状であるが、強い削平を受けており、ほぼ平坦になっている。現地表面の標高は約3mであり、墓地内での比高差はわずかに0.4mである。現状の高さは西から東にかけて高くなっている、御堂の位置する所が最高所となっている。

墳丘の規模は、検出された周濠の状況からは墓地よりも若干広くなるようで、墓地の西側の公園に一部及んでいる。そして、周濠を含めた全容は、古墳を円墳として復元すると、公園の東1/3になると考えられ

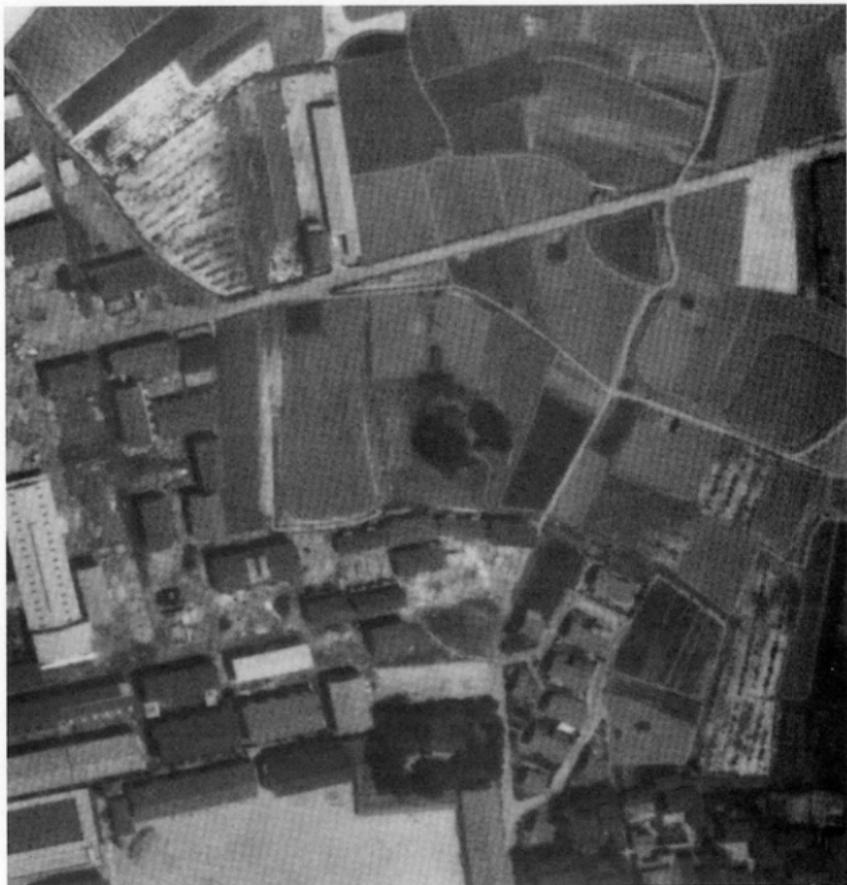


図38 昭和36年 撮影 航空写真

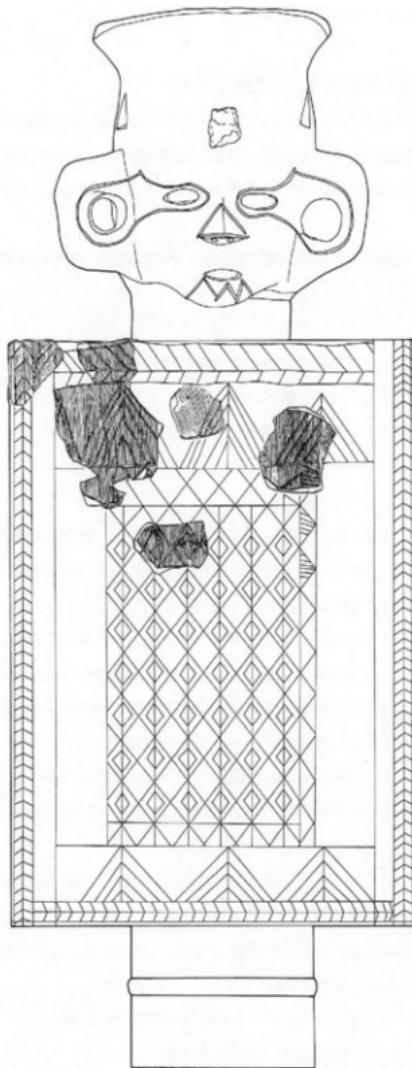
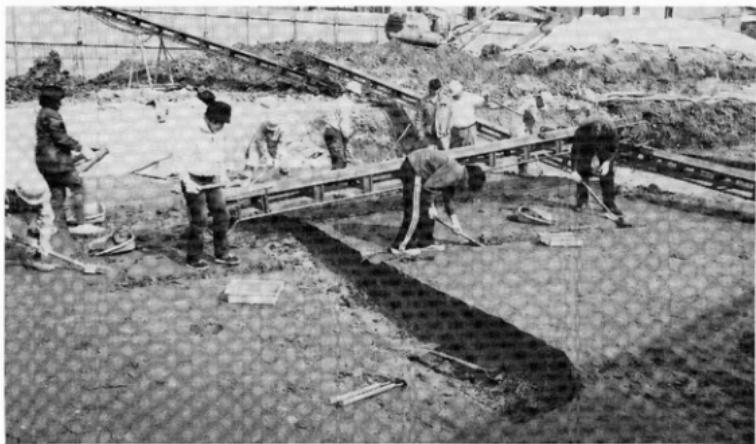


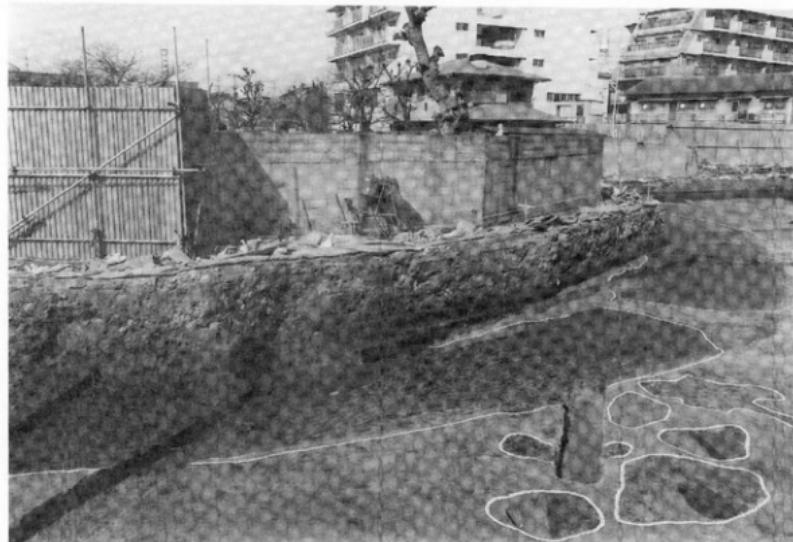
図40 盾持人埴輪 復元図

図 版

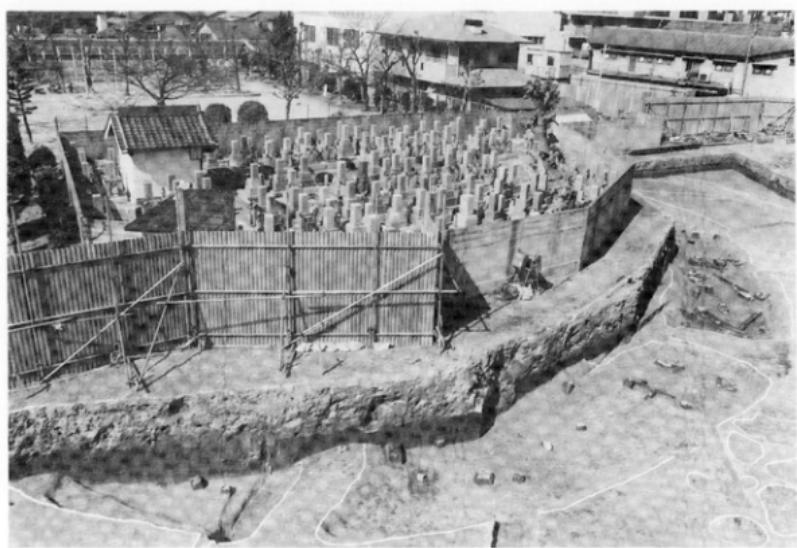




普賢寺古墳 周濠検出状況（北東から）



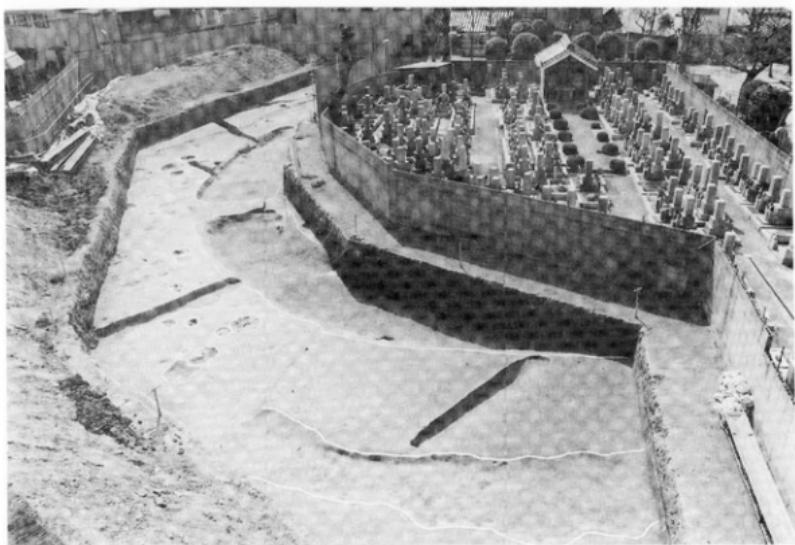
普賢寺古墳 周濠検出状況（南東から）



普賢寺古墳 全景遺物出土状況（南東から）



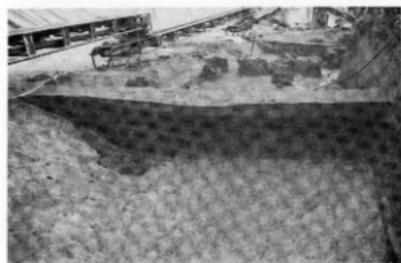
普賢寺古墳 全景遺物出土状況（北東から）



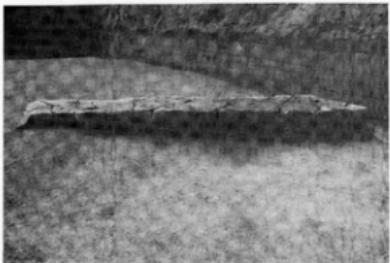
普賢寺古墳 完掘状況（北から）



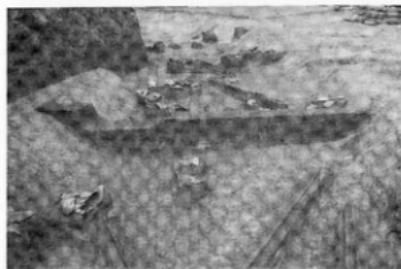
普賢寺古墳（北から）



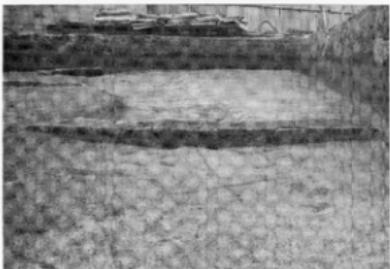
SDO 1
セクションベルト
1
(西から)



SDO 2
セクションベルト
1
(北から)



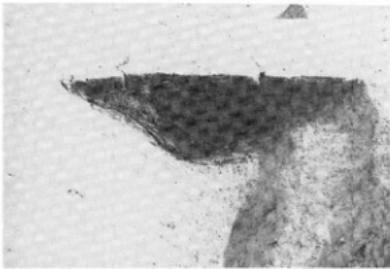
SDO 1
セクションベルト
2
(東から)



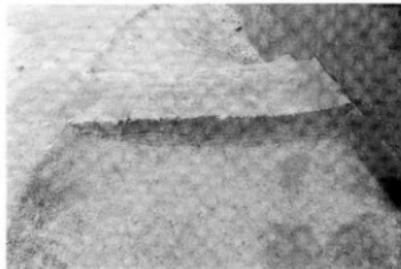
SDO 2
セクションベルト
2
(東北から)



SDO 1
セクションベルト
3
(北から)



SDO 2
セクションベルト
1
(西から)



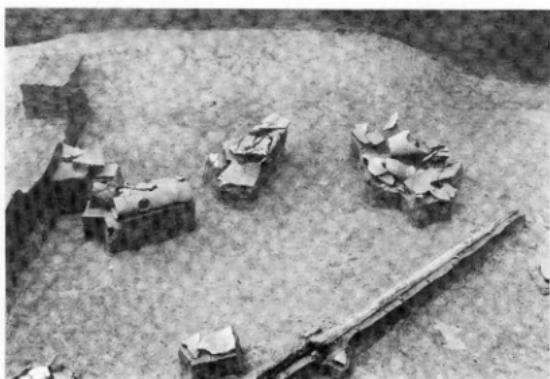
SDO 1
セクションベルト
2
(西から)



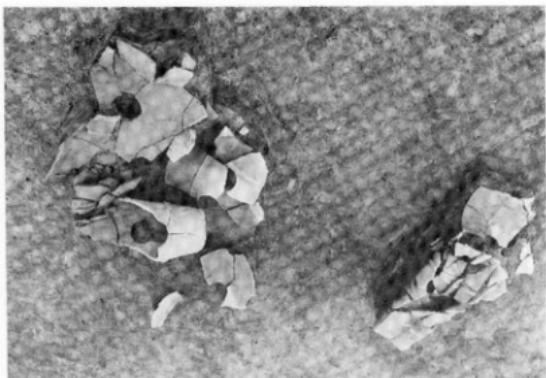
SDO 2
セクションベルト
4
(南から)



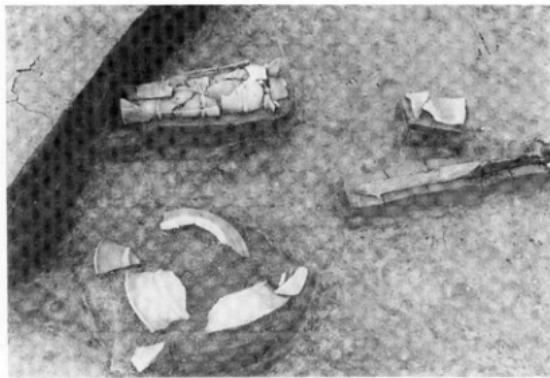
陸橋1 (南東から)

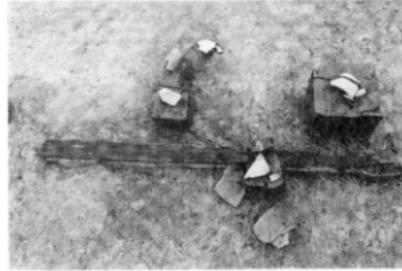
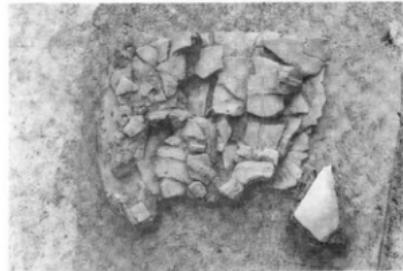
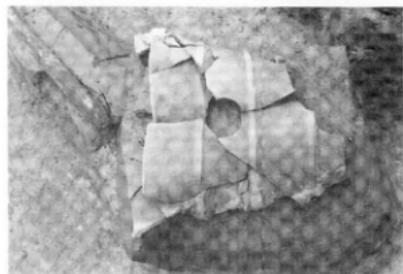
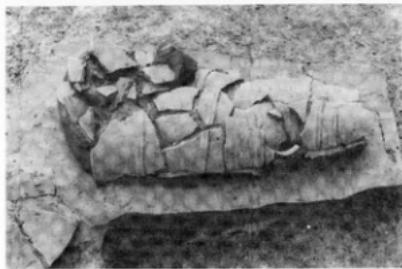
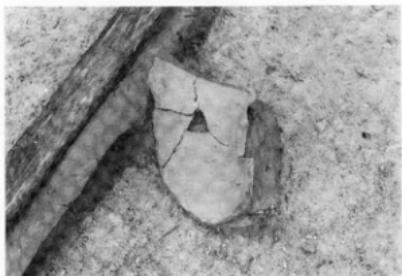


周濠内遺物出土状況 (東から)



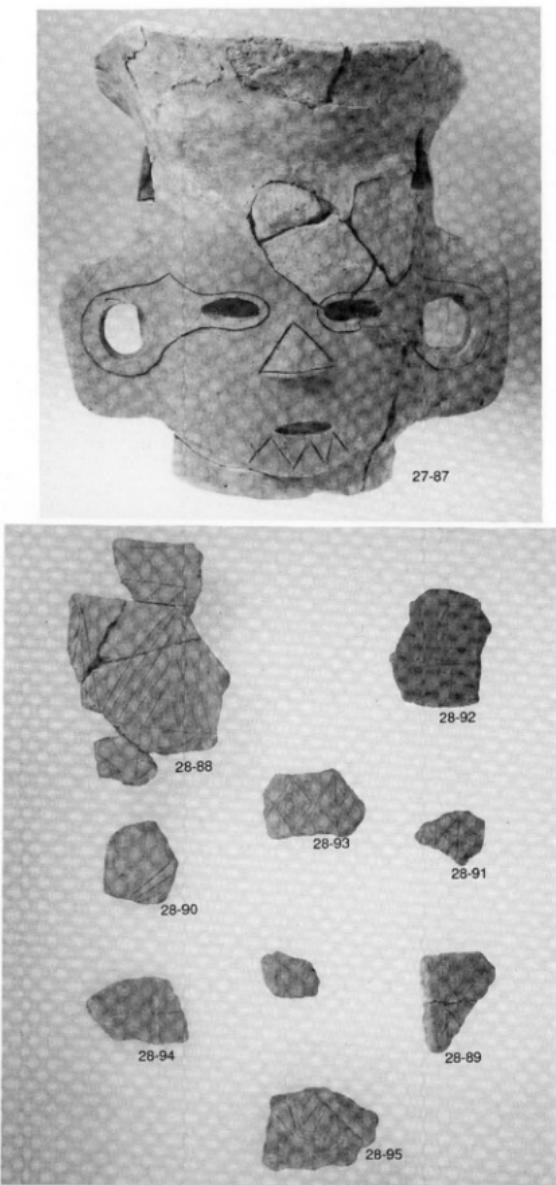
周濠内遺物出土状況 (東から)



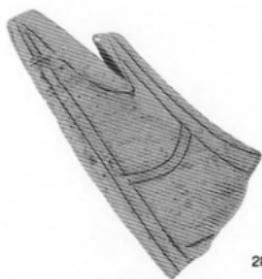


遺物出土状況

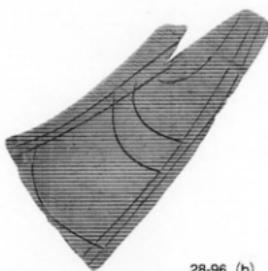
図版 7 人物埴輪（盾持人と盾）



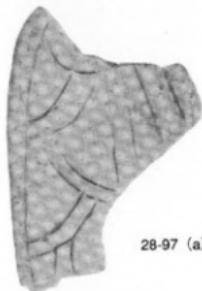
人物埴輪（盾持人と盾）



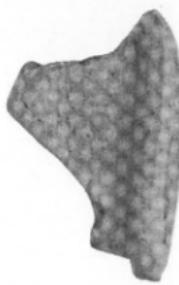
28-96 (a)



28-96 (b)

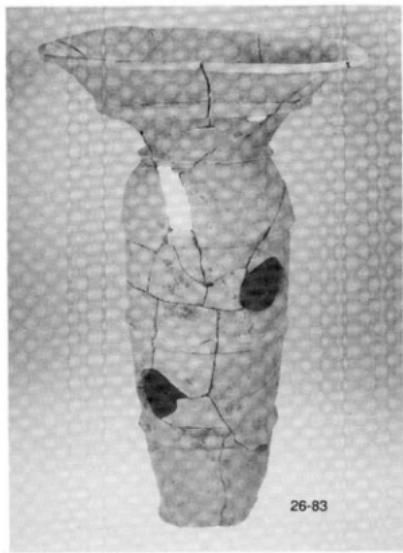


28-97 (a)

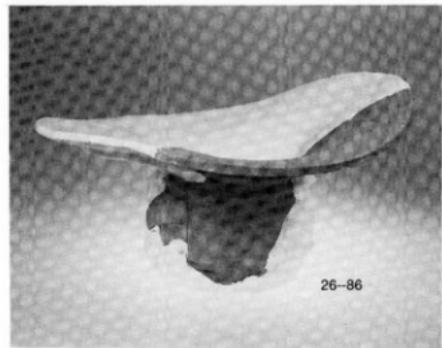


28-97 (b)

蓋形埴輪

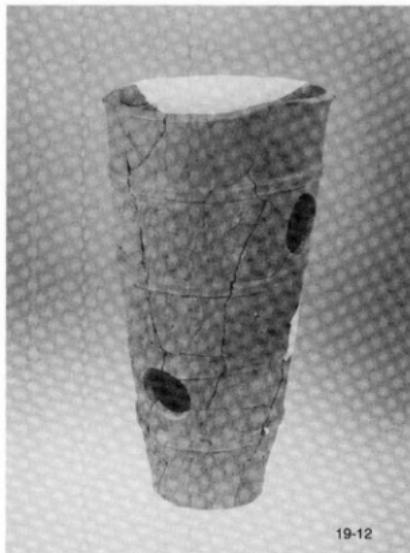


26-83

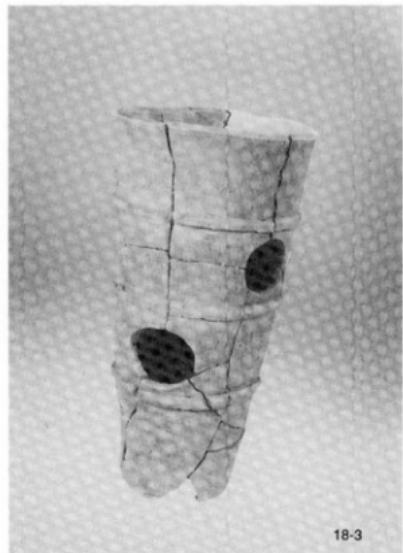


26-86

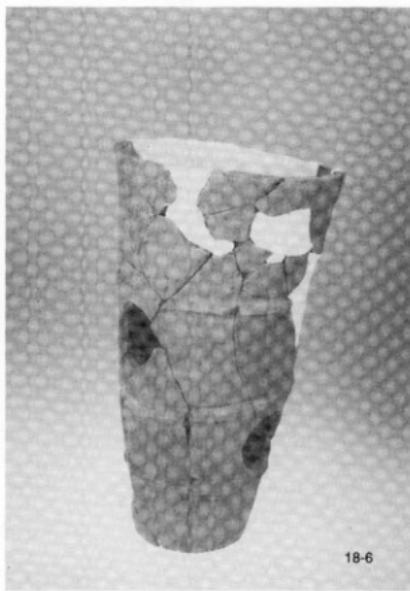
朝顏形埴輪



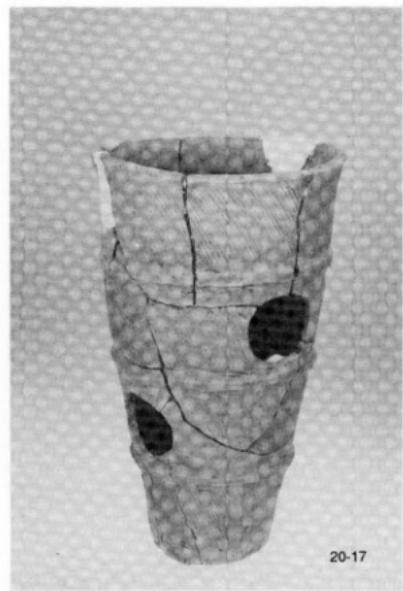
19-12



18-3

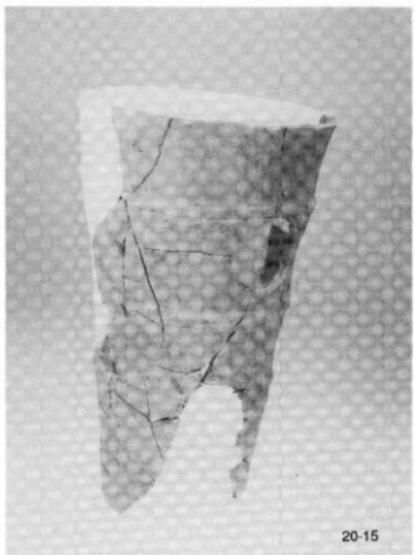


18-6

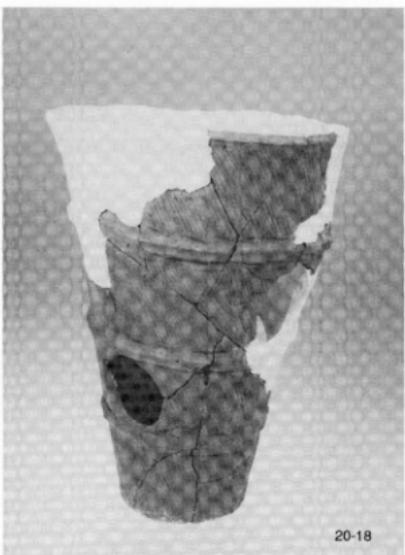


20-17

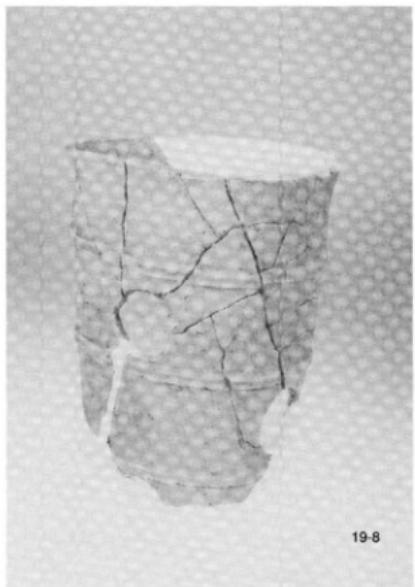
円筒埴輪 (1)



20-15



20-18



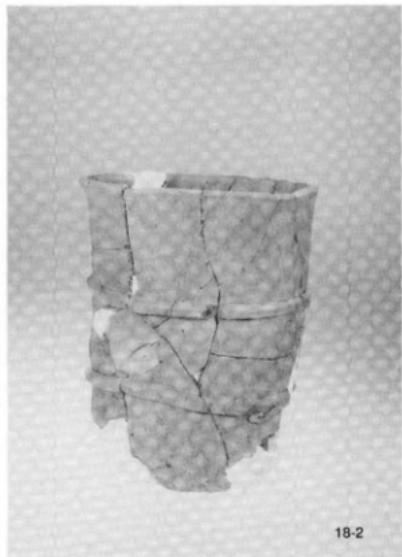
19-8



19-9



22-34



18-2



19-11

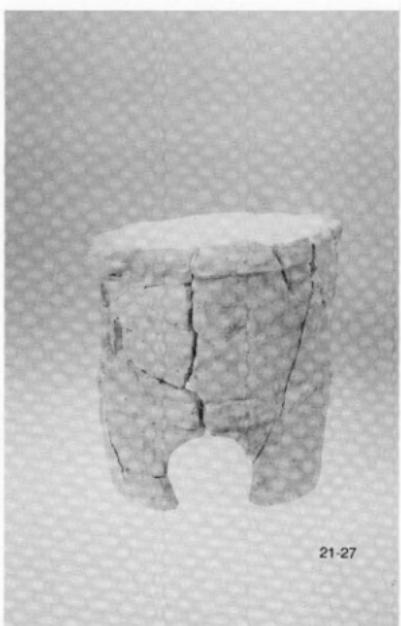


22-29

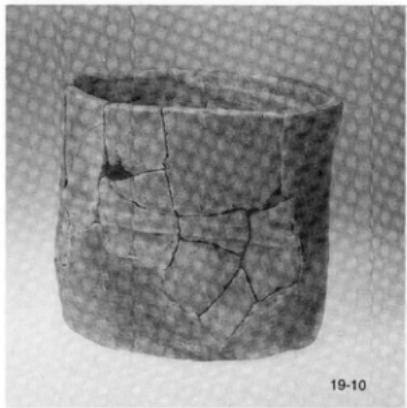
円筒埴輪 (3)



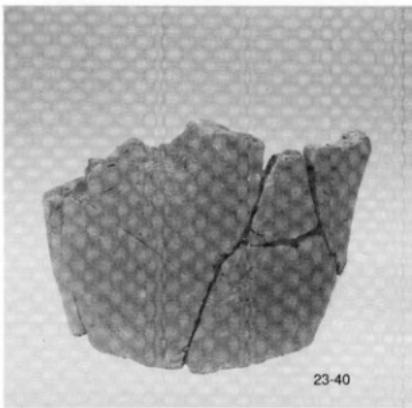
18-4



21-27

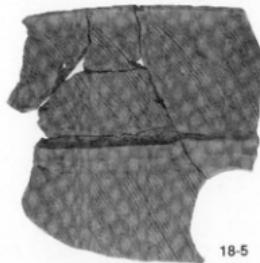


19-10

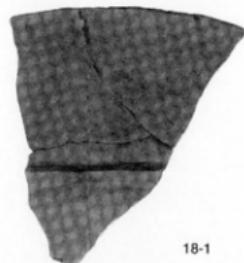


23-40

円筒埴輪 (4)



18-5



18-1



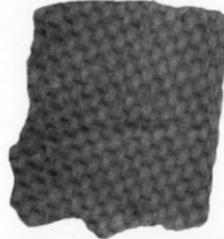
20-13



22-32



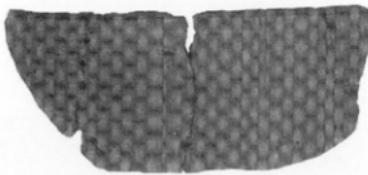
22-33



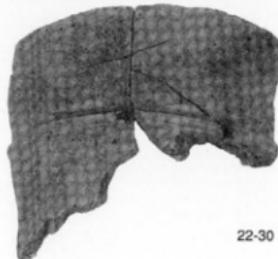
20-16



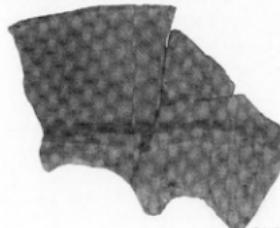
21-24



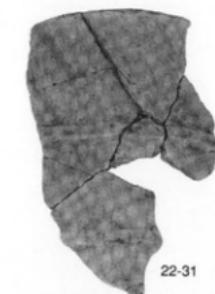
21-19



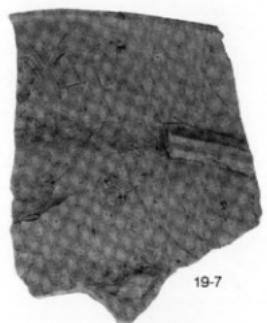
22-30



21-20



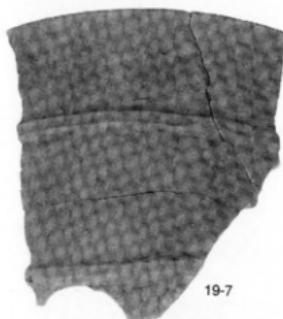
22-31



19-7



22-28



19-7



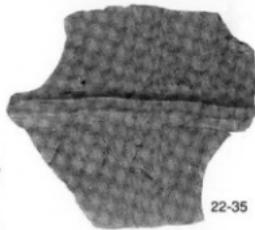
21-26



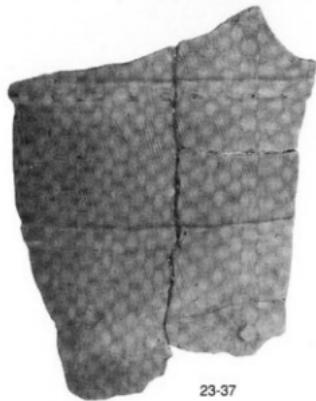
21-25



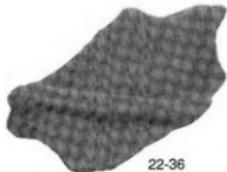
21-23



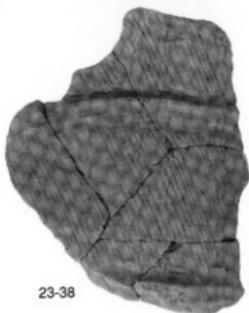
22-35



23-37

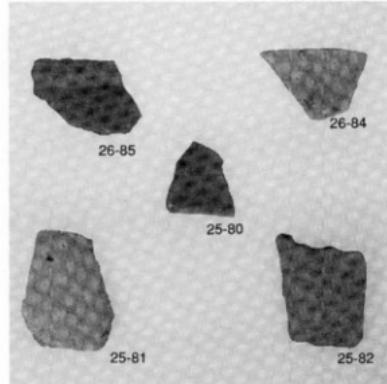
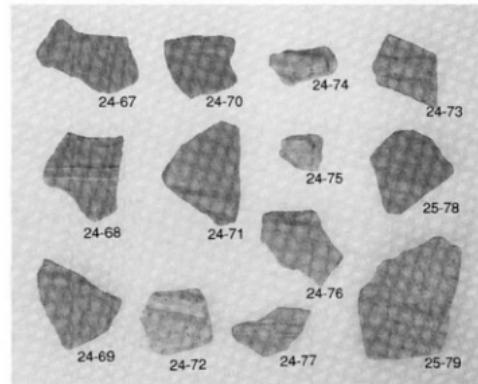
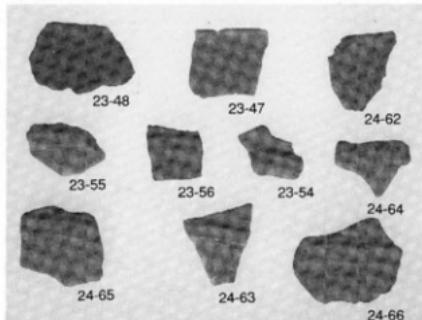
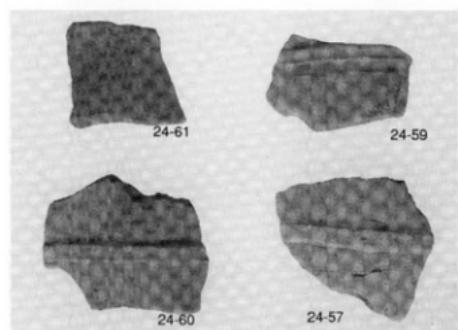
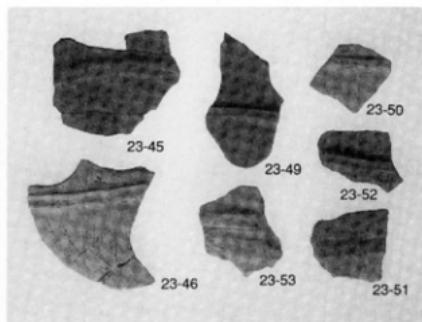
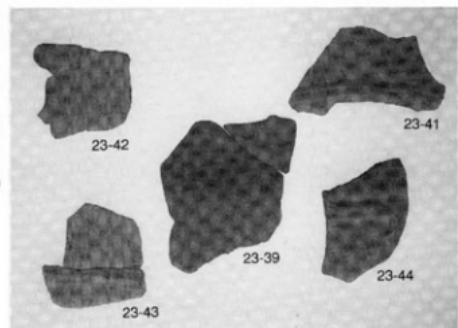


22-36

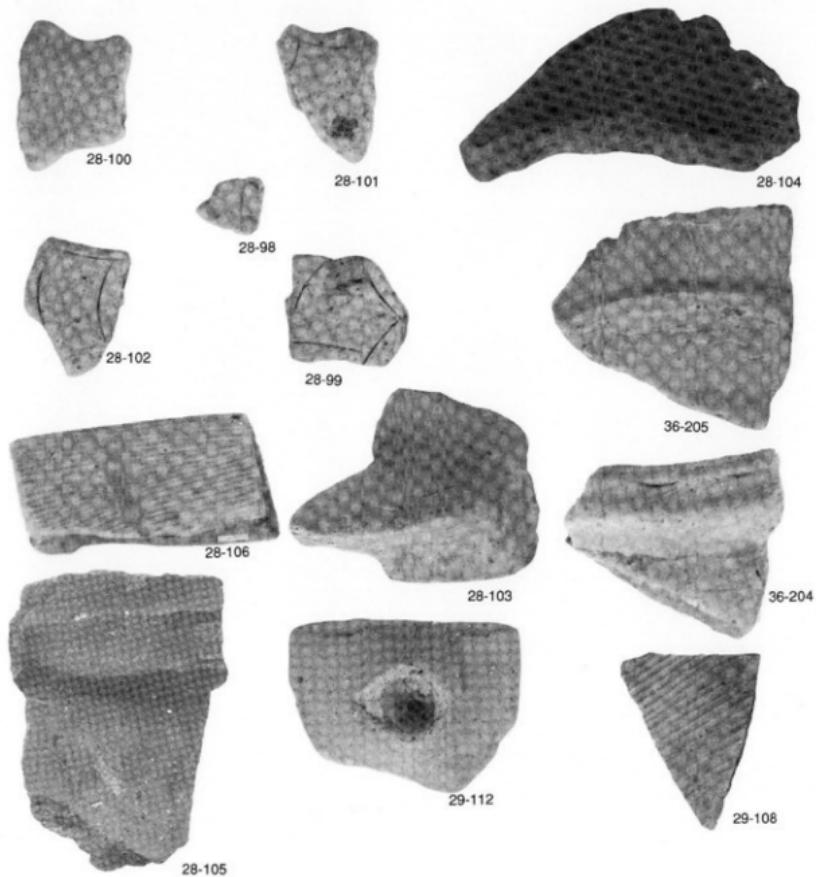
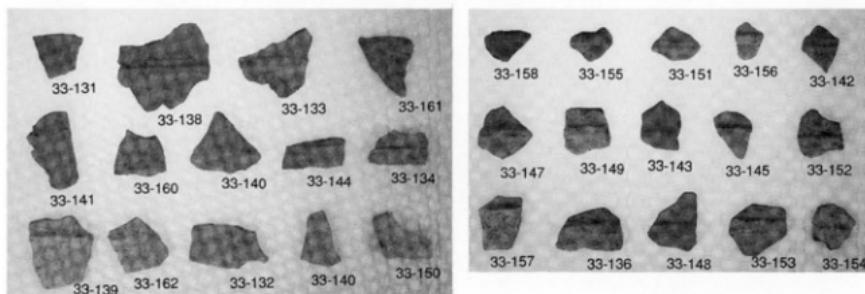


23-38

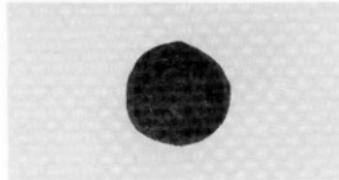
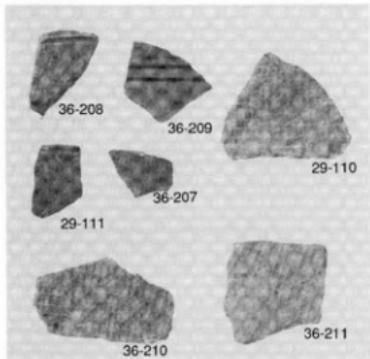
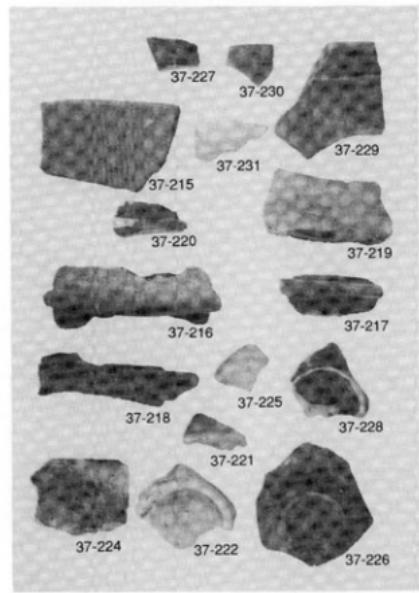
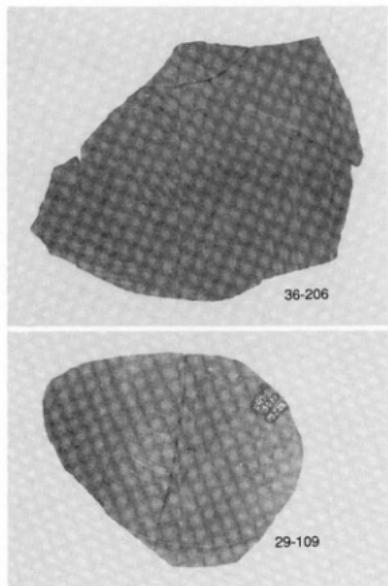
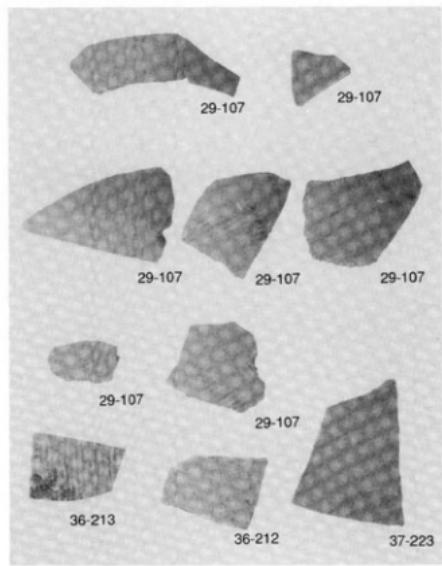
(7)



円筒埴輪 (7)

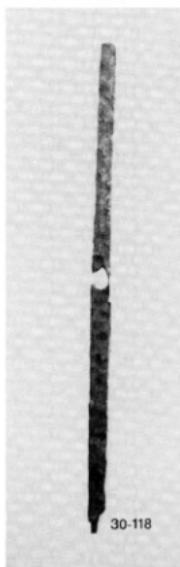
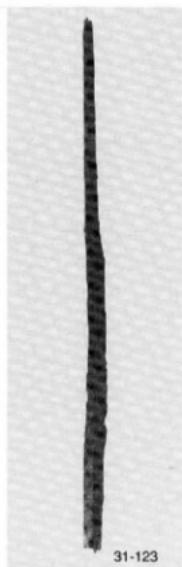
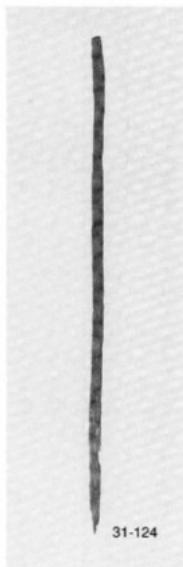
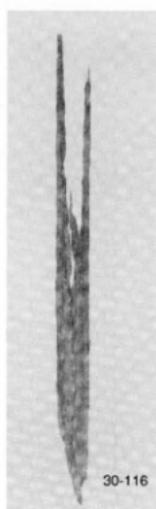
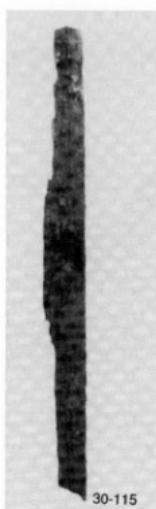
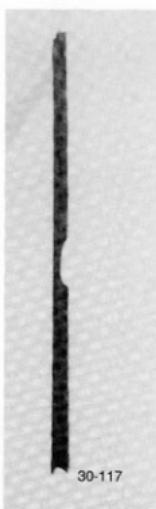
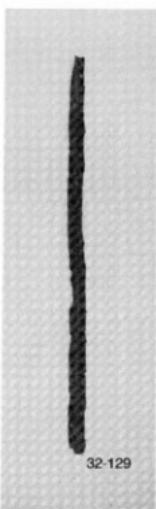
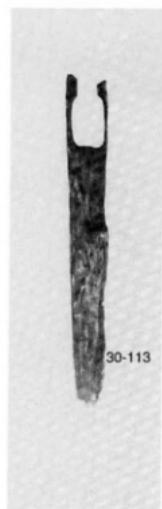


円筒埴輪（8）・形象埴輪 ほか

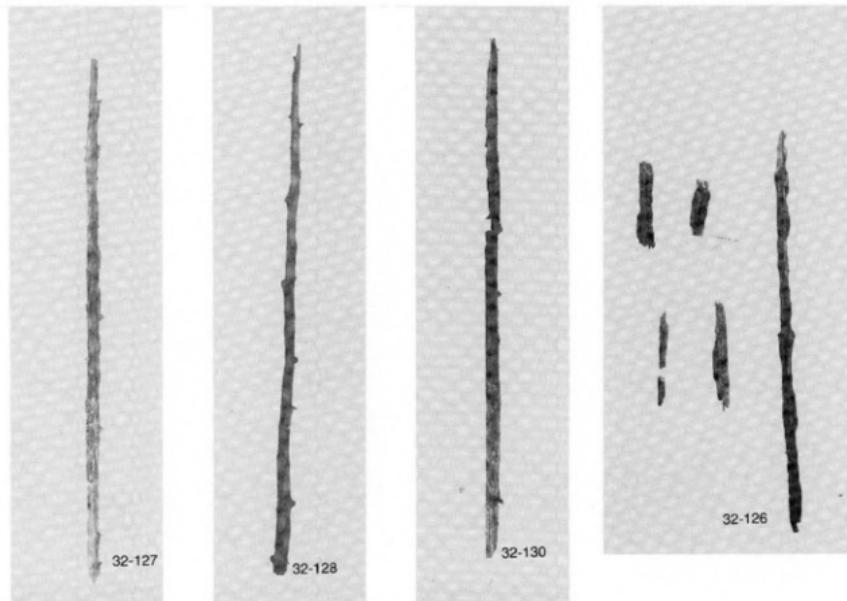
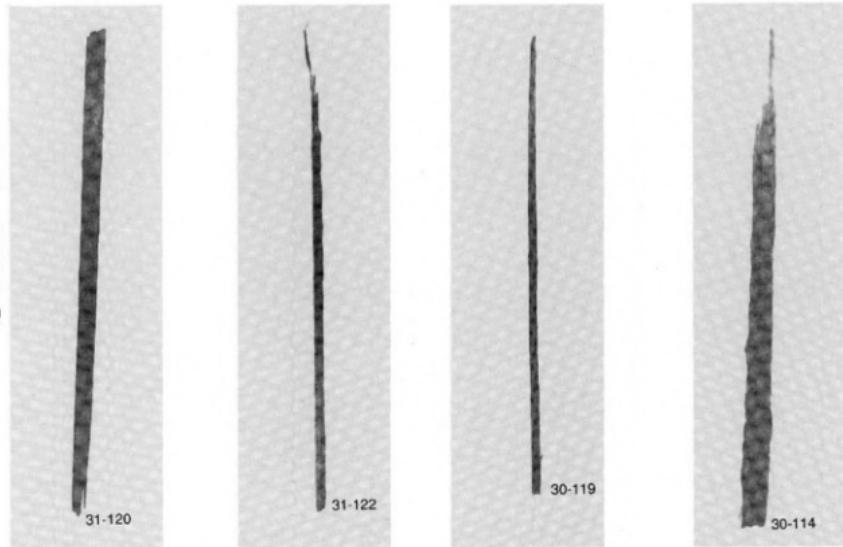


須恵器・古代以降の出土遺物

図版 18 周濠内の樹木・木製品 (1)



周濠内の樹木・木製品 (1)



周濠内の樹木・木製品 (2)

